気管カニューレ離脱の流れ

気道評価

全身麻酔による喉頭気管支鏡検査やCTなどを用いて気道の開通性を評価し，気管カニューレの脇を通る空気で呼吸が可能なことを確認します．

閉鎖訓練

カラーテープでふさいで空気を通らなくした人工鼻を作り，蓋として装着し，カニューレを塞ぎます．最初は数秒から開始し，徐々に体になじませます．最終的に朝起きてから寝るまでの間，継続して装着できれば閉鎖試験に移行します．

閉鎖試験

入院にてモニタリングしながら行います．睡眠を含めて48時間連続してカニューレを塞いでも，呼吸症状やSpO2低下がないことを確認します．これが達成出来たら，気管カニューレを抜去します．

気管カニューレ抜去

気管カニューレを抜去したら，気管孔にはテープを貼付します．抜去後は基本的に48時間ほど呼吸に問題がないか観察しますが，ご遠方の患者様においては，加えて数日観察させていただくことがあります．

気管孔をテープで保護し退院

呼吸が問題ないことを確認し，退院します。3か月後に気管支鏡（＋気管孔仮閉鎖：苦しくなったらすぐに外せるように皮膚だけ縫います），6か月後に気管支鏡（＋気管孔本閉鎖：手術で完全に閉鎖），以後，半年から1年ごとの気管支鏡のフォローを行います．6か月ほど自宅で経過みても閉じない場合には，気管孔本閉鎖を行います．